

# 令和 7 年度教育活動方針

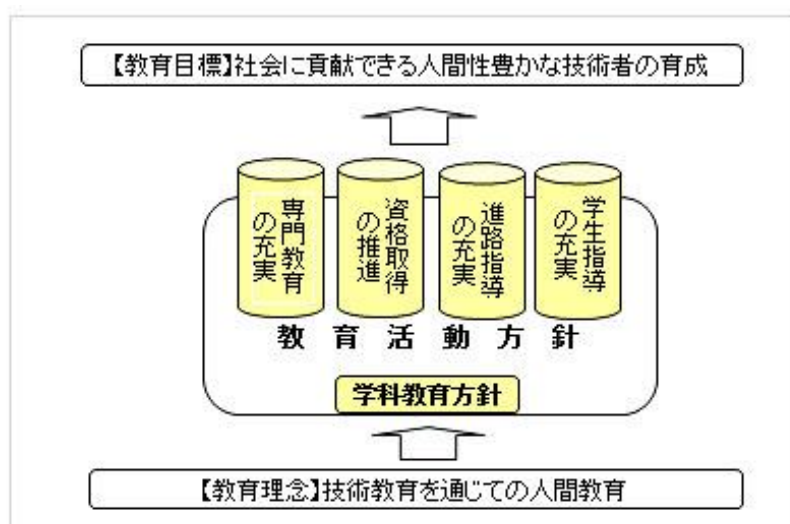
令和 7 年 4 月 1 日  
岡山科学技術専門学校  
校長 大月 秀之

## I 教育理念

「技術教育を通じての人間教育」

## II 教育体系

岡山科学技術専門学校では、専門教育の充実、資格取得の推進、進路指導の充実、学生指導の充実を教育活動方針の柱とし、社会に貢献できる人間性豊かな技術者の育成を目指している。併せて教育活動を継続的に改善するため、PDCA サイクルを活用している。基本的な流れとしては校長の定める教育活動方針及び学科で作成する学科ガイドブック (Plan) を基に、教育活動を実施 (Do)、年度末に自己点検 (Check) を行い、次年度の教育活動方針に反映 (Action) させるという構成となる。PDCA サイクルの要となる自己点検は、教職員に対するアンケート方式で毎年末に行っており、令和 6 年度の結果は 3 ページの「V (参考資料) 令和 6 年度教育活動方針に従った評価項目の達成及び取り組み状況」にまとめた。



## III 令和 6 年度教育活動方針の概要と結果

### (1) 令和 6 年度の教育活動方針の概要

コロナ禍の終息に伴い教育活動の制約が大きく減少したこともあり、令和 5 年度の評価は大きく向上し、肯定的な回答の割合が 100% となった項目もあった。この高評価を科技専の標準的な状態とするためには、評価が低い項目を強化することが必要と考え、改めて内容を確認した。その結果、令和 5 年度の重点目標であった 3 分野の評価が高まるなど大きな成果はあったが、一部の項目については相対的に低い評価に留まっており、改善の余地があることも明らかとなったため、令和 6 年度も同項目の改善に力を注いだ教育活動を目指すこととした。

一点目が科技専教育の根底をなす「6S 管理の徹底」である。全般に教職員の評価は高かったが、社会人マナーの指導を強化することが必要だと感じている。

二点目が「留学生の指導・支援の充実」である。この中では日本語能力向上に向けた指導と、研修の項目の評価が低かった。日本語学科を設けている科技専の特徴を生かし、工業専門課程を含めた学内連携・長期計画による日本語教育の充実と教員研修に力を入れたい。

三点目が「学生確保」であるが、こちらにも他に比べて評価が低い項目があった。私立学校にとって学生確保は最重要課題であることを念頭に、科技専の魅力を高め、SNS などの情報発信とオープンキャンパスの内容充実を通じて、受験者増に繋げるべく努力したい。

生物学の用語で説明すると、令和5年度の高評価を「突然変異」で終わらせるのではなく、科技専に定着して形質が変化することを期待し、キーワードは「進化」とした。

## (2) 結果

令和6年度においても、教育活動方針の評価は全般的に高いレベルを維持できており、改善傾向が続いている項目（右端に↑印がある項目）も多かった。重点項目とした6S管理の徹底（社会人マナーの指導）、留学生の指導・支援の充実（日本語能力の向上と指導力の向上）については、評価を上げることができた。特に社会人マナーについては頭髪、服装指導を強化したことが高評価につながったと感じている。また、留学生の指導・支援については、対応力が向上しつつある。一方で、学生確保（専門学校としても魅力の発信）の評価については十分な成果を上げることができなかった。その他にも、一部項目で評価が下がっており、対応策を令和7年度教育活動に反映させたい。

## IV 令和7年度教育活動方針

教育活動方針のアンケート調査の結果を見る限り、ある程度の成果が定着してきたと感じている。一部項目においては評価の平均点が低下しているが、その多くが高い肯定割合を維持しているため、より充実した成果を求める教職員の、前向きな意見の反映ととらえている。これらの意見を科技専教育改善につなげるため、令和7年度においては以下の3分野に積極的に力を注いだ活動を推進し、科技専全体の一層の活性化を目指したい。

一点目が科技専教育の根底をなす「6S管理の徹底」である。特に職員室の整理整頓の評価が下がっているため、全教職員に強く改善を求めたい。また、知らない人にはあいさつができない日本人学生が増加していると感じているので、この項目にあいさつ指導を併記したい。

二点目が「留学生の指導・支援の充実」である。留学生に関する評価は全項目で高くなっているが、日本語力の向上は改善の余地が大いにある。そのため全教員の日本語指導力の向上を目指し、研修等を充実したい。

三点目が「学生確保」である。全般的に向上している評価の中で、相対的に伸び悩んでいるのがこの項目である。私立学校にとって学生確保は最重要課題であることを念頭に、科技専の魅力を高め、SNSなどの情報発信とOCの内容充実を通じて受験者増に繋げるべく、今後とも関係部署と連携して努力を継続したい。

以上三点は、科技専教育の根底をなすと同時に、究極の目的であるとの気持ちを込めて、キーワードは「原点にして頂点」とした。

### 重点項目まとめ

- 1 6S管理の徹底  
整理整頓とあいさつ指導
- 2 留学生の指導・支援の充実  
留学生の日本語能力向上と全教員の指導力向上
- 3 学生確保  
専門学校としての魅力を発信

## V (参考資料) 令和6年度教育活動方針に従った評価項目の達成及び取り組み状況

表の数字の、左欄は自己評価の平均値、右欄は肯定的人数（「4：適切」または「3：ほぼ適切」と答えた人数）の割合（%）を示す。また、（ ）内の数字は昨年度の値を示す。なお、数字左の記号で、○は平均値が0.2以上アップかつ割合が10ポイント以上アップ。△は平均値のみ0.2以上アップ。●は平均値が0.2以上ダウンかつ割合が10ポイント以上ダウン。▲は平均値のみ0.2以上ダウン。割合右の矢印で、↑は2年以上連続アップ、↓は2年以上連続ダウンを示す。

### 1. 6S管理の徹底

評 価 項 目		4：よい 2：やや不十分	3：ほぼよい 1：不十分
1	職員室（事務室も含む）の整理、整頓はなされている	●2.9 (3.1)	76.0% (86.3)
2	HR教室の整理、整頓、清掃はなされている	2.9 (3.0)	73.5% (78.4)
3	実習工場（高柳）、実習室（昭和町）の整理、整頓、清掃はなされている	3.1 (3.1)	83.0% (80.0) ↑
4	授業（実習・座学）は学生が意欲を持って取り組む、わかりやすいものを目指して日々工夫をしている	3.1 (3.2)	87.5% (91.7)
5	授業、校外研修等において、常に細心の注意を払い、事故のない指導を心掛けている	3.4 (3.4)	100.0% (97.9) ↑
6	授業始業時、終了時のあいさつや授業態度の指導など、マナー、躰指導に継続的に取り組んでいる	3.2 (3.1)	83.7% (86.0)
7	安全を意識した指導を徹底している	▲3.3 (3.5)	93.8% (100.0)

ご意見、お気づきの点（抜粋）

- ・オープンキャンパス、入試の準備に関して清掃が不十分なときがある。
- ・保健室の利用や消毒液、絆創膏の使用量が増えてきている感じがする。

### 2. 専門教育の充実

評 価 項 目		4：よい 2：やや不十分	3：ほぼよい 1：不十分
1	教える内容を精査し、基礎・基本の定着を図っている	3.3 (3.3)	95.8% (97.8)
2	個々の能力を伸ばすため、学生が主体的に学ぶ授業の工夫に努めている	▲3.1 (3.3)	89.6% (93.5)
3	認定学科として、職業教育の充実に向けた取組が、計画通り進んでいる	3.1 (3.2)	83.0% (89.1)
4	身に付けさせる能力について、学科教員との話し合いに努めている	3.1 (3.1)	91.5% (87.0) ↑
5	企業と連携した実習は効果的に行っている	▲3.2 (3.4)	97.3% (93.6) ↑
6	企業と連携したインターンシップは効果的に実施できている	3.3 (3.2)	87.2% (85.1) ↑
7	目指す資格を明確に示している	3.6 (3.7)	97.9% (100.0)
8	学科を挙げた組織的で徹底した指導を行っている	3.3 (3.3)	91.5% (93.8)

ご意見、お気づきの点（抜粋）

### 3. 学生指導の充実（学科教員間の意思の疎通、家族や関係機関との連携）

評 価 項 目		4：よい 2：やや不十分	3：ほぼよい 1：不十分
1	あいさつの徹底（思いやりの心を育む）に努めている	●3.1 (3.3)	78.0% (88.0)
2	授業の工夫・改善に努め、学ぶ意欲の高揚を図っている	3.1 (3.1)	87.8% (91.7)
3	真面目に授業を受ける指導を行っている	3.0 (3.1)	73.5% (89.6)
4	個人面談や声掛けを大切にし、学生把握に努めている	3.2 (3.2)	89.8% (87.5) ↑
5	電話連絡や家庭訪問等で家族との連携を密にし、きめ細かい指導を行っている（進級率・卒業率 95%）	3.0 (3.0)	84.8% (83.3) ↑
6	禁煙指導や感染症の予防等の健康管理、気になる学生の支援に努めている	3.1 (3.0)	81.3% (80.0) ↑

ご意見、お気づきの点（抜粋）

### 4. 進路指導の充実（進路指導課と学科との連携）

評 価 項 目		4：よい 2：やや不十分	3：ほぼよい 1：不十分
1	就職指導の充実に向け、進路指導課と学科の連携ができている（内定率 100%）	3.1 (3.2)	89.6% (83.7) ↑
2	企業訪問を積極的に行っている	○2.7 (2.5)	61.7% (47.9)
3	一般教養の充実に努めている	2.9 (3.0)	77.1% (84.8)
4	ビジネス教養の充実に努めている	3.0 (3.1)	81.3% (88.9)
5	進路指導課と学科の連携を強化し、就職支援と卒業後の離職等も含めた動向確認に努めている	3.1 (3.0)	89.6% (77.1)
6	就職先企業や企業後援会、同窓会との連携を図り、卒業生の職場定着に努めている	2.9 (2.8)	71.7% (64.6)

ご意見、お気づきの点（抜粋）

### 5. 留学生の指導・支援の充実（在学生の把握の徹底と卒業生の把握）

評 価 項 目		4：よい 2：やや不十分	3：ほぼよい 1：不十分
1	日本語能力向上に向けた組織的、計画的な指導に努めている	2.8 (2.7)	76.1% (58.7) ↑
2	進学指導の充実のため、ガイダンスや専門学科の授業見学が、組織的に行われている	○3.2 (2.8)	91.5% (75.6) ↑
3	専門科目をわかりやすくするための指導方法の工夫がなされている	3.1 (3.0)	87.2% (81.4) ↑
4	就職に向けたガイダンスやインターンシップの実施が、組織的に行われている	3.2 (3.1)	89.1% (87.0) ↑
5	生活実態（出欠、アルバイト、宿舎等）の把握に努めている	3.2 (3.2)	97.9% (91.5) ↑

6	文化や言語の理解を深めるための研修が行われている	○2.6 (2.4)	57.4% (44.7) ↑
---	--------------------------	------------	----------------

ご意見、お気づきの点（抜粋）

- ・工業専門課程の授業風景を見学するなど、日本語学科の内部進学に対する取り組みが進みつつある。継続して行っていただきたい。
- ・研修が減っているように感じる。

## 6. 学生確保

評 価 項 目		4：よい 2：やや不十分	3：ほぼよい 1：不十分
1	多角的な情報分析、計画的な高校訪問など、学生確保に努めている	2.8 (2.7)	70.2% (59.2) ↑
2	広報企画課と学科との情報交換を密にし、学科情報の効果的な発信に努めている	2.6 (2.6)	54.3% (57.1)
3	オープンキャンパスの充実を図り、歩留まり率向上（65%以上）を目指している	3.0 (3.1)	77.1% (81.6)

ご意見、お気づきの点（抜粋）

- ・もう少しデータが欲しい。

## 7. 教職員の資質・能力の向上

評 価 項 目		4：よい 2：やや不十分	3：ほぼよい 1：不十分
1	3回の面談（当初、中間、最終）等で意見交換ができています	3.0 (3.1)	77.1% (82.4)
2	校内教員研修や企業研修会等に積極的、計画的に参加している	3.1 (3.1)	81.3% (80.0) ↑
3	公開授業、授業見学が計画的に行われ、授業改善に努めている	3.1 (3.1)	87.2% (90.0)
4	資質、指導力向上のため資格取得に挑戦している	2.9 (3.0)	77.6% (88.0)

ご意見、お気づきの点（抜粋）

- ・学生は教員の力量をよく見ている。資格取得等の自己研鑽に努めなければならない。
- ・教職員の研修参加が、以前に比べて減っているように感じる。